

コンパクトドライによる大腸菌群検査マニュアル

目的:大腸菌群検査により手指等の微生物の汚染状況を把握し衛生管理の評価を把握する。

- ◇ 各保育所の嘱託薬剤師に依頼書と検査結果用紙が郵送されます。
- ◇ 実施期間は 7 月上旬～8 月上旬です。
- ◇ 各保育所に、在籍乳幼児数によってコンパクトドライCF(培地)と簡易ふき取りキット(綿棒)の数を調整して直接配布されます。園によっては検査箇所のない場合もありますが、他の場所を検査するなどして配布数分検査するようにしてください。
- ◇ 原則として検査日は予め決めておかない事になっていますが、行事など都合の悪い日もありますので、各保育所と相談して下さい。

～その時に次の事を確認してください～

- ・培地(コンパクトドライCF)は冷蔵庫で保管しておくこと
 - ・ふき取りキットは検査日の朝には常温に戻しておくこと
 - ・培養用のタッパウェアがあるはず
 - ・水道水の遊離残留塩素の検査キットがあるか
- ◇ 検査時間 お昼迄に終わるように
 - ◇ 持ち物～油性マジック、アルコール消毒綿または 消毒用スプレー、筆記用具 白衣
- 使い終わった簡易ふき取りキットを捨てる ビニール袋

検査の注意点

1. 手の拭き取り
両手、指の間、爪、手の平を綿棒で拭き取ります。
2. 手指消毒について
簡易ふき取りキットの綿棒部分には、絶対に手指を触れないようにしてください。手袋、手指消毒は不要ですが、以下の場合には手指消毒を行っても構いません
 - 調理室や園児の部屋に入室する前
 - 保育園関係者の安心のため
 - 前任者から引き継ぐ場合、実施状況を確認のうえ対応してください。

各項目の注意点

1. 調理員の手

- 検査対象: 全員
- 作業中の手指が清潔であるかを確認します。

2. 手洗い後の調理員の手

- 検査対象: 全員
- 手洗い後、手指がきちんと洗えているかを確認します。

3. 調理員の前掛け

- 検査対象: 全員
- 調理員の腹部や腰回りから下を検査します(ポケットの中は検査しなくても良いです)。

検査項目

◇ 冷蔵庫・冷凍庫

- 取って、ドアの正面、内部壁面を検査します。

◇ 調理台またはハッチ

- 30×30 cm の範囲を 3 か所検査します。(ハッチとは、キッチンとダイニングの間に設けられた料理や食器の受け渡し口です。)

◇ まな板

- 肉用または果物用かを確認します。

◇ 食台

- 10×10 cm の範囲を 5 か所検査します。

◇ 台ふきん

- 使用中のものを検査し、5 回綿棒を挟むか、5 回拭きます。

◇ 保育士・園児の手指

- 昼食時に訪問し、手指を検査します。食事前に手洗いをしているため、しっかり洗えているかを確認します。もし食事時に訪問できない場合は、手洗い後に検査しても同等の条件となります。特に 0 歳児担当の保育士は、園児の糞便処理を行うため、手洗い後の検査が理想です。

◇ 対象者

- 園児や保育士を 2～3 名(保育士 1 名の園は除外)を選んで検査してください。保菌者が特定されないよう配慮します。

◇ 牛乳アレルギーの対応

- 簡易ふき取りキットの溶液には低濃度のガゼイン由来緩衝液が含まれているため、牛乳アレルギーのある方は避けて実施してください。特に園児については事前に園長や保育士に確認することが重要です。

◇ 手指検査後

- 検査後はそのままでも大丈夫ですが、気になる方は流水で手洗いしてください。

- ✧ 培養～培地をタッパーに入れて持ち帰り、室温(35±2℃が良いのでクーラーの効いているところは避ける) で約 36 時間放置する。
- ✧ 判定～36 時間後に青色ないし青緑色に発色したコロニーが1個でもあれば(+)です。
- ✧ 記入～結果欄のあいているところに(+)か(-)を記入する。検体の数(一人、一枚、一面) も忘れずに記入すること。
- ✧ 廃棄～使用済みの培地は各自ハイター処理して廃棄してください。【処理方法:ビニール袋に使用済みのコンパクトドライ CF を入れる→完全につかるぐらいの水道水を入れる→ハイターを入れて一日置く→ビニールの角をハサミでカットし水を全部廃棄する→ビニール袋ごと可燃ごみとして廃棄する】
- ✧ 報告～ 検査結果の用紙は 薬剤師会と保育所に提出して下さい。(検査結果の報告は終了後なるべく早く提出して下さい)
- ✧ 保育所には 結果に対する適切な指導とタッパーの返却を お願いします。